



HPを
チェック

他のニュースも、ホームページで随時更新中！

ぽらーのNEWS トピックス

看板コンクールと主張発表で盟友が受賞！ JA若手県青年大会

青年部は12月5日、ホテルニューカーリーナ（盛岡市菜園）で行われた「第61回JA若手県青年大会」に参加しました。

大会では活動実績の発表や各種コンクールの表彰が行われ、西和賀地域青年部が「JA青年組織手作り看板若手県コンクール」で見事、最優秀賞に輝きました。審査を担当した（株）日本農業新聞東北支所の舩津貴支所長は「やわらかく優しい印象で、農家と消費者が対話するイラストが今の時代を反映している」と評価のポイントを話しました。代表して表彰状を受け取った青年部の佐々木政則副委員長は「色を出すために塗料の調合を工夫した。盟友皆の協力があつたからこそ

の賞なので、感謝を伝えたい」と受賞を喜びました。看板は2月18日、19日に練馬文化センター（東京都練馬区）で開催される「第72回JA全国青年大会」に出品されます。

「JA青年の主張若手県大会」では北上地域青年部和賀支部の高橋彬光さんが、農業を志したきっかけや青年部との出会い、農業の魅力について発表し、優秀賞を受賞しました。



西和賀地域青年部

最優秀賞を受賞した西和賀地域青年部制作の看板



賞状と盾を手に笑顔を見せる佐々木副委員長（前列中央）と高橋さん（同右から3人目）、青年部役員の皆さん

全国大会出場校に農畜産物を贈呈 地元高校生の活躍を願って

JAとJA全農いわては12月、全国大会に出場する黒沢尻工業高等学校バスケットボール部と専修大学北上高等学校男女サッカー部、吹奏楽部に「北上産ひとめばれ」と若手県産豚肉、金一封を贈呈し、大舞台での活躍を祈願しました。



金田専務（左）と高橋県本部長（右）から農畜産物を受け取った黒沢尻工業高校バスケットボール部の押切優真部長（右から2人目）と梅本翼主将（同3人目）



高橋組合長（前列左）と高橋県本部長（同右）から農畜産物と目録を受け取った専修大学北上高校サッカー部の吉池晃大キャプテン（同左から2人目）と女子サッカー部の星川優香主将（同中央）、吹奏楽部の秋篠幸来部長（同右から2人目）、関係者の皆さん

を激励しました。

11日には、専修大学北上高等学校（北上市新穀町）で贈呈式が行われ、28日に東京都で開催する「第104回全国高校サッカー選手権大会」、29日に兵庫県で開幕する「第34回全日本高校女子サッカー選手権大会」に出場する男女サッカー部と、7日に埼玉県で行われた「第53回マーチングバンド全国大会」に出場し、銅賞を受賞した吹奏楽部それぞれの代表者に、高橋利光組合長と高橋県本部長が贈呈品を贈り、全国舞台での活躍と今後に期待を込めました。

根わさびが出荷ピーク迎える 品質の高位平準化を目指し目ざろえ

遠野地域野菜部会わさび専門部は12月4日、根わさびの目ざろえ会を開き、生産者や関係機関の職員、取引市場の担当者など12人が参加しました。市場からの評価・要望を共有したほか、持ち寄ったわさびを見比べ、実の切り方や黒ずみの程度について意見交換しました。

佐々木勝巳専門部長は「生産者同士の連携を大切に、質が揃った宮守のわさびをお届けしたい」と話しました。



根わさびを手に出荷基準を確認する生産者

ポリ袋レシピで災害に備える 女性部防災料理教室

女性部は12月6日と7日の2日間、管内4会場で防災料理教室を開きました。

6日にJA農産加工室（花巻市野田）で開かれた料理教室には、部員や地域住民など20人が参加し、雑誌『家の光』12月号の記事を活用したクイズや防災料理作りを通じて、災害への備えを学びました。高橋美紀子部長は「防災は普段からやってみることが大事。学んだことを周囲にも伝えて欲しい」と話しました。



ポリ袋を使用して料理する参加者たち

栽培振り返り次につなげる 中学生による研究発表も

北上地域野菜部会は12月16日、ブランニュー北上（北上市大通り）で「生産者の集い」を開き、生産販売経過や次期作への対策について確認しました。中野陽副部長は「課題を洗い出し、来年に備えてほしい」とあいさつしました。

同日は、北上市立和賀西中学校の生徒が、地域の特色や栽培が盛んなアスパラガスについて調査した活動発表を行い、会場からは称賛の声があがりました。



活動発表を行った北上市立和賀西中学校の生徒たち

6次化商品販路開拓に向けて ヤッケびじんフェスティバル

県内の女性農業者で構成されたグループ「ノースフラワー」は12月16日、「hokko(ほっこ)」（北上市新穀町）で「ヤッケびじんフェスティバル」を開き、同グループ試作のお粥と地元野菜を使った料理を来場者に振る舞いました。

同日は、料理研究家の喜多マリコさんがレシピを監修。商品開発やPR方法について講演を行い、参加者は6次化商品の販路開拓について学びました。



レシピを紹介する喜多さん（右）とノースフラワーの川村姉子代表（左）